

## 2019 中国シクロクロス国際レース・遠征ご報告

先日 8 月 30 日から 9 月 8 日にわたり弊 Ready Go JAPAN チームの須藤むつみ選手が中国で開催されたシクロクロスレース「千森杯 (Qiansen Trophy)」の全 2 戦に参戦し、無事に帰国をしましたので大変遅くなりましたが、現地取材にお越しいただいた Masakazu Abe 氏撮影、および大会公式レース写真とともに御報告申し上げます。



### <2019 年・中国レース遠征：概要>

・遠征期間：2019 年 8 月 30 日(金)～2019 年 9 月 8 日(日)

#### 【レーススケジュール】

1st レース：9/1(日)

Aohan Station (Aohan County, Chifeng City) UCI-C1 レース

2nd レース：9/7(土)

Fengfeng Station (Fengfeng District, Handan City) UCI-C1 レース

※各レース詳細レポートにつきましては下記のリンクにある RGJ 須藤選手の個人ブログに掲載しましたので、ご覧いただければ幸いです。

・2019-09-01：中国赤峰 Aohan Station シクロクロス UCI・クラス 1 女子エリート

<http://rockmutsumi.hatenablog.com/entry/2019/09/01/230000>

・2019-09-07：中国邯鄲 Fengfeng District, Handan City シクロクロス UCI・クラス 1 女子エリート

<http://rockmutsumi.hatenablog.com/entry/2019/09/07/220000>

【日本参戦チームメンバー】

• Men Elite (7名)

小坂 光 (宇都宮ブリッツエンシクロクロスチーム)

竹之内 悠 (Team Toyo Frame)

織田 聖 (弱虫ペダルサイクリングチーム)

斎藤 朋寛 (RIDELIFE GIANT)

向山 浩司 (SNEL CYCLOCROSS TEAM)

積田 連 (SNEL CYCLOCROSS TEAM)

小島 大輝 (SNEL CYCLOCROSS TEAM)

• Women Elite (2名)

西山 みゆき (Toyo Frame Field Model)

須藤 むつみ (Ready Go JAPAN 女子シクロクロスチーム)



• Staff

諏訪 孝浩、橋本 剛、小島 哲也、小松 聖義

• Media

阿部 昌一 (Masakazu Abe)

今回の遠征につきまして、RGJ 須藤より御礼メッセージです。



遅くなりましたが、この度は 2019 年の中国シクロクロスレース遠征に男子選手 7 名やスタッフ、メディアスタッフとともに参戦し、おかげ様で大きなトラブルや怪我なく無事帰国しましたことを御報告とともに御礼申し上げます。帰国日の 9 月 8 日は台風 15 号が関東に上陸した影響もあり、北京で約 10 時間の遅延、さらに無事に羽田空港に到着した後も成田から迎えに来る車が羽田へ辿り着けず、結局、最後の宿泊先のホテルを出てから 48 時間かけて自宅に帰ることになりました。しかし肝心の UCI レースの方では私個人、今までの中国遠征で最高順位を獲得し、全 2 レースにおいて UCI ポイントを獲得することができました！

先ず今遠征においても、第 1 回目の中国シクロクロス国際レース開催時から日本選抜チームを編成し派遣手配をおこなった東北シクロクロスオーガナイザーの菅田氏の尽力、そして長く中国遠征に関わっている同行スタッフや選手達の協力、そして中国遠征先の大会関係者やスタッフ皆様のおかげで全 2 戦を走りきることが出来ました。おかげで中国初参戦の選手も新しい交流が出来たことと思います。

私としては通算 5 回目の中国遠征ということもあり、大会主催の Song 氏や事務局の Kane さんなど運営中心メンバーをはじめ、昨年以前の同大会に参戦している他国チーム選手たちと再会を楽しみながら、レースでも切磋琢磨することが出来ました。この海外からの参戦選手たちの多くは、この後に UCI クラス 1 として 11 月に長野県の野辺山で開催されるスーパークロス等にも参戦を予定しているそうなので、また再会し戦えることを楽しみにしています。

昨年は 1 月に左肩を一部腱板断裂し、その影響でオフロード練習を中国レース遠征の 1 か月前まで自

粛していました。更に前回の遠征では 2 レースとも初めてのレース会場で開催され、特に第 1 レースでは殆どまともなレースが展開できず非常に悔しい思いを抱えておりました。そのため、昨年のレースコース試走時に撮影した動画を確認しながら、日本で似たような条件で走れる場所を探して MTB からオフロードのスキル練習を重ね、一方で福島県葛尾村で「トレーニングキャンプ」を 5 月から月一回で企画開催。ダイナミックなコースを利用し、レース仲間を集めて十分なロード練習も行うことが出来ました。

シクロクロスバイクは、長年お世話になっている BOMA ブランドの ASK トレーディング社に無理をお願いして新たなフレーム制作も並行しておこないました。この時に依頼したアルミフレームの出来上がりは間に合いませんでしたが、同時に開発中であった新しいシクロクロスバイク「ドーラ II」プロトタイプの完成が出発 2 週間前に間に合い、初めてディスクブレーキで組んで試走。BOMA カーボンホイールとの相性も抜群で自信が湧きました。

併せて R×L ソックスの武田レグウェア社と開発中の靴下の最終バージョンも用意し、シクロクロスならではのランニングの安定感を得ることができました。「スポーツ化粧品アスリート X」のアミックグループ社からは愛用の日焼け止めに加えて、春先に発売開始し好評を得ているシャワージェルを追加で供給いただき、ホコリと汗まみれでドロドロになる中国レースのスキンケアを出来る準備が出来ました。スポーツ補給食のアスリチューンの隼社からは、短い時間でしっかりと身体を目覚めさせて走る必要のあるシクロクロスに最適な「カフェイン入りポケットエナジー・ブースト」も携え、出国前にやぎ整骨院でボディーケアいただき、準備万端で中国は北京へと向かいました。



自転車は国内外遠征の自転車遠征で今まで一回もトラブルのない BTB 輸行箱「203 タイプ」でバイクパッキング。ウェアもチャンピオンシステムの多彩なアイテムで暑さ対策も出来ておりました。

一番の懸念だった第 1 戦の Aohan は、スタート直後の急な登坂を乗車でクリア出来ただけでなく、ギア組み合わせも工夫したことで昨年とは違い前方を走る選手を捕え追抜くポイントになりました。その後にある難しかった 2 か所の下りセクションもディスクブレーキのセッティングの際に「ショートリーチ」のブレーキブラケットに変えたこと、さらに BOMA フレームとホイールの相性の良さでハードな不整路面もコントロールしきれて毎周回を問題なくクリアできました。おかげさまで、あと僅かでトップと同一周回を逃しましたが 15 位で UCI ポイントを獲得しました。

第 2 戦の Fengfeng コースは、昨年も良い感触があったレースなのでスタートから果敢に攻めて走りました。特にディスクブレーキと新しいバイクのコントロールが良く丁寧なレース運びを最後まで実践し、こちらも僅かでトップと同一周回は逃しましたが自身の中国レース遠征で最高位の 12 位でゴールし UCI ポイントを獲得出来ました。ちなみに両レースともに 20 位以内にゴール出来たので賞金を獲得しました。両レースを機材等でバックアップいただき無事走りきれたことに、改めてこの場をお借りして RGJ チーム協賛各社・関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



このような中国のハイレベルなレースに合わせて綿密に計画したトレーニングをおこない、その内容を開示することで今後の日本シクロクロスシーズンの走りと盛り上げに繋がりたいです。今まで海外レース遠征経験が元々ある私だからこそできること、これを結集して今回の遠征で 50 歳となる私はチャレンジをしました。そして、今回も貴重な経験を手に入れることが出来ました。

私としては、開催時期が日本のシクロクロスシーズンより早く大会運営や受け入れ態勢も整っている  
ので、エリート登録していれば是非とも同じチャレンジをする日本女子選手が他にもいて欲しい！と考  
えてます。今回は私だけでなく女子は西山みゆき選手も参戦し、第2戦では9位という非常に素晴らし  
い結果を得ました。また男子については第2戦で織田 聖選手が3位となり、UCIクラス1レースで日  
本人選手初の表彰台獲得となりました。来年以降はレベルの高い海外レースにチャレンジしたい、という  
熱い想いの女子選手や男子選手達に、是非ともチャレンジしてもらいたいと思います。

今後も女子 CL1 女子エリート選手として、そして AJOCC 理事という立場も通じて、日本国内のシク  
ロクロスレース普及と発展のために引き続き活動をしていきますので、何卒シクロクロスへご声援のほ  
どよろしく願いいたします！

最後に主催の Song さん、そして地元レーススタッフの皆様、同行してくれた 2019 中国シクロクロス  
UCI レース遠征・日本選抜チームの選手とスタッフの皆様深く感謝いたします。

シクロクロスで日中友好の輪を、そして世界へ！！

※コメントは以上です。



<シクロワイアード掲載記事リンク>

・Qiansen Trophy 千森杯 2019 第1ステージ

「中国の CX 開幕戦「千森杯」で第1戦で織田聖が6位 女子は西山みゆきが10位に」

<https://www.cyclo wired.jp/news/node/306347>

・ Qiansen Trophy 千森杯 2019 第 2 ステージ

「中国 UCI CX レースで織田聖が 3 位でアジア人初の表彰台獲得小坂光と西山みゆきもトップ 10 入り」

<https://www.cyclowired.jp/news/node/307398>

< AJOCC 公式レポート >

<https://www.cyclocross.jp/news/2019/09/Qiansen02.html>

【使用装備】

フレーム：BOMA シクロクロスバイク・ドーラ II プロトタイプ、エピス（ともに S サイズ）

タイヤ：IRC チューブレス・シラク、およびシラク MAD

ヘルメット：株式会社オージーケーカブト・ゼナード（カラー：レッド・S/M サイズ）

グローブ：株式会社オージーケーカブト PRG-2

ソックス：武田レグウェア株式会社 R×L ソックス

※第 1 戦はワイルドペーパー（紙糸ソックス）、第 2 戦は開発中のソックス（詳細マル秘）

ボトル・ボトルゲージ：株式会社オージーケーカブト

スキンケア：株式会社アミックグループ・スポーツ化粧品 AthleteX（アスリート X）

サプリメント・補給食：株式会社 隼・アスリチューン

ウェア：チャンピオンシステム（レースウェアのほか、アフターレースウェア含め）

※第 1 戦はシクロクロス用ワンピース、第 2 戦はタイムトライアル用スピードスーツ

輸送用品：コーワ株式会社・BTB 輸行箱 PRO シリーズ 203、ホイール保護カバー

度付きサングラス調整：オードビー

シューズ：SHIMANO ※ペダル：TIME アタック

